

報道関係者各位

株式会社 BCN

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-12-5 内山ビル

TEL: 03-3254-7801 FAX: 03-3254-7808

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします

BCN AWARD 2017 実行委員会

E-MAIL: bcn_award@bcn.co.jp

デジタル家電やパソコンなどの年間販売台数 No.1 メーカー決まる ——「BCN AWARD 2017」受賞社発表 ～あわせて「BCN IT ジュニア賞 2017」受賞者を発表～

株式会社 BCN(本社:東京都千代田区、奥田喜久男 会長兼社長)は1月12日、「BCN AWARD 2017」の受賞社を発表した。全国の主要家電量販店やカメラ量販店、パソコン専門店、ネットショップなどの実売データをもとにデジタル家電やパソコン関連製品の販売台数を集計、部門別に2016年の年間販売台数 No.1 メーカーを表彰するもの。18回目を迎える今回は、121部門で58社が受賞した。

【初受賞や新設部門など、受賞社の主な顔ぶれ】

デジタル家電やパソコン、それら関連製品とソフトウェアの部門別販売台数年間 No.1 メーカーを決める BCN AWARD。「BCN AWARD 2017」では、ハードウェアは88部門で38社、ソフトウェアは33部門で20社が受賞。計121部門で58社が受賞した。

既存各部門での初受賞社は計9社。ハードウェア部門では「メモ리카ード部門」でトランセンドジャパン、「PLC 部門」でアイ・オー・データ機器、「カメラケース・バッグ部門」でハクバ写真産業、「ゲームコントローラ部門」でバッファロー、「スマートフォン保護シート部門」でエレコムが初めて受賞した。ソフトウェア部門では、「CAD ソフト部門」でエアアンドエー、「PC ゲームソフト部門」でコーエーテクモゲームス、「データ管理ソフト部門」でデネットが初めて受賞した。今回新設した「ドライブレコーダー部門」ではユピテルが受賞した。

また、今回 No.1 を奪還した主なメーカーは次の通り。「液晶ディスプレイ部門」がアイ・オー・データ機器で8年ぶりの受賞。「USB 部門」でエレコムが2年ぶり、「DVD メディア部門」で日立マクセルが2年ぶり、「4K テレビ部門」と「BD メディア部門」がソニーでそれぞれ2年ぶりに No.1 を奪還した。

(そのほかの各部門受賞社は一覧をご参照ください)

【18年連続受賞】

18年連続で BCN AWARD を受賞したメーカーは下記の通り (7社13部門)。

- ・クリエイティブメディア「サウンド関連ボード部門」
- ・バッファロー「LAN カード部門」
- ・ワコム「ペンタブレット部門」
- ・日本マイクロソフト「OS 部門」「プログラミングソフト部門」「統合ソフト部門」
- 「データベースソフト部門」「表計算・グラフソフト部門」「プレゼンテーションソフト部門」
- ・ジャストシステム「ワープロ・エディタソフト部門」「FEP ソフト部門」
- ・弥生「業務ソフト部門」
- ・筆まめ「葉書・毛筆ソフト部門」

【「BCN AWARD 2017」表彰式開催概要】

受賞社のトップをお招きし「BCN AWARD 2017」表彰式を開催します。メディア各社様の取材も可能ですので、ぜひおいでいただきますようご案内いたします。

開催日時：2017年1月20日（金）15：00～17：00（開場 14：30）

開催場所：TKP ガーデンシティ品川 ボールルームイースト（東京都港区高輪 3-13-3）

※なお「BCN AWARD 2017」「BCN IT ジュニア賞 2017」表彰式の模様は

Ustream の下記アドレスでリアルタイム配信いたします。どうぞご覧ください。

<http://www.ustream.tv/channel/7yp2vh79fb6>

<BCN AWARD とは>

「BCN AWARD」は、全国の主要な家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの実売データを集計する BCN が、そのデータをもとに年間（1月1日～12月31日）販売台数累計第1位のメーカーを表彰する制度です。「BCN AWARD 2017」の集計対象は、23社/2,614店舗です（※）。受賞社の決定にあたっては、5名の有識者からなる認証委員会を設置し、委員会の認証を経る公正な評価システムを導入しています。

※集計対象社は、当社と販売店との間でデータ提供契約を締結している法人数をカウントしています。また、店舗数は新規出店/統廃合などにより若干変動いたします。

<実売データ提供販売店>

アベルネット、アマゾン ジャパン、エディオン、NTT レゾナント、ケースホールディングス、コジマ、ドスパラ、サンキュー、上新電機、スタート、ストリーム、ソフマップ、ZOA、ナニワ商会、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、三星カメラ、ムラウチドットコム、MOA、ユニットコム、ラオックス、楽天（楽天ブックス）（50音順）

<後援>

大手家電流通協会
一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会
一般社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会
一般社団法人 電子情報技術産業協会
一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
公益財団法人 日本生産性本部

<協力>

日本事務器株式会社

BCN AWARD 2017 受賞社一覧

<ハードウェア部門 88部門 38社>

部門名	受賞社	受賞回数
デスクトップPC部門	NECパーソナルコンピュータ株式会社	8年連続14回目
ノートPC部門	NECパーソナルコンピュータ株式会社	6年連続10回目
タブレット端末部門	Apple Japan, Inc.	6年連続6回目
タブレット端末アクセサリ部門	エレコム株式会社	6年連続6回目
液晶ディスプレイ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	2回目
インクジェットプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	3年連続8回目
ページプリンタ部門	ブラザー工業株式会社/ブラザー販売株式会社	3年連続5回目
サーマルプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	12年連続12回目
複合プリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	3年連続5回目
フォトプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	3年連続4回目
外付けハードディスクドライブ部門	株式会社バッファロー	9年連続14回目
ハードディスクドライブ内蔵部門	ウエスタンデジタルジャパン株式会社	3年連続3回目
NAS部門	株式会社バッファロー	4年連続4回目
記録型DVDドライブ部門	株式会社バッファロー	9年連続9回目
SSD部門	日本サムスン株式会社	3年連続3回目
メモリ部門	シー・エフ・デー販売株式会社	6年連続6回目
マザーボード部門	ASUS JAPAN株式会社	12年連続14回目
メモリカード部門	トランセンドジャパン株式会社	初受賞
USB部門	エレコム株式会社	16回目
カードリーダー部門	エレコム株式会社	7年連続8回目
拡張インターフェース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	8年連続8回目
USBメモリ部門	エレコム株式会社	5年連続5回目
KVM切替器部門	エレコム株式会社	3年連続5回目
PCケース部門	ENERMAX TECHNOLOGY CORPORATION/株式会社クーラージャイアント	2年連続2回目
ベアボーン部門	インテル株式会社	3年連続3回目
PC電源部門	シー・エフ・デー販売株式会社	6年連続6回目
ドライブケース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	7年連続9回目
ワイヤードスピーカー部門	エレコム株式会社	2年連続10回目
ワイヤレススピーカー部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	3年連続3回目
DTM関連機器部門	株式会社コルグ	6年連続6回目
映像関連ボード部門	ゲーグル株式会社	3年連続3回目
サウンド関連ボード部門	クリエイティブメディア株式会社	18年連続18回目
グラフィックボード部門	シー・エフ・デー販売株式会社	14年連続14回目
ホームシアターシステム部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	4年連続4回目
スピーカーシステム部門	オンキヨー&パイオニア株式会社/オンキヨー&パイオニア マーケティングジャパン株式会社	4年連続4回目
ホームシアターラックシステム部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	4年連続4回目
AVアンプ部門	ヤマハ株式会社/株式会社ヤマハミュージックジャパン	4年連続4回目
ヘッドセット部門	エレコム株式会社	6年連続6回目
ヘッドホン・イヤホン部門	株式会社オーディオテクニカ	8年連続8回目
携帯オーディオ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	6年連続6回目
携帯オーディオアクセサリ部門	エレコム株式会社	10年連続10回目
ICレコーダー部門	オリンパス株式会社	2年連続10回目
電子ピアノ部門	ヤマハ株式会社/株式会社ヤマハミュージックジャパン	2年連続3回目
プリントサーバ部門	株式会社バッファロー	17年連続17回目
LANカード部門	株式会社バッファロー	18年連続18回目
HUB部門	株式会社バッファロー	16年連続17回目
ルータ部門	株式会社バッファロー	14年連続15回目

部門名	受賞社	受賞回数
無線LAN部門	株式会社バッファロー	15年連続15回目
PLC部門	株式会社アイ・オー・データ機器	初受賞
UPS部門	シュナイダーエレクトリック株式会社	2年連続8回目
スキャナ部門	株式会社PFU	7年連続7回目
デジタルカメラ(レンズ一体型)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	13年連続13回目
デジタルカメラ(一眼レフ)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	9年連続11回目
デジタルカメラ(ミラーレス一眼)部門	オリンパス株式会社	2年連続5回目
デジタルビデオカメラ部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	2年連続2回目
アクションカム部門	GoPro, Inc.	2年連続2回目
デジタルフォトフレーム部門	オンキヨー&パイオニア イノベーションズ株式会社	2年連続2回目
交換レンズ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	8年連続8回目
三脚・一脚部門	ベルボン株式会社	2年連続2回目
カメラケース・バッグ部門	ハクバ写真産業株式会社	初受賞
PCカメラ部門	株式会社ロジクール	4年連続9回目
マウス部門	エレコム株式会社	17年連続17回目
キーボード部門	株式会社ロジクール	5年連続5回目
ゲームコントローラ部門	株式会社バッファロー	初受賞
10キーボード部門	エレコム株式会社	11回目
ペンタブレット部門	株式会社ワコム	18年連続18回目
スマートフォン部門	Apple Japan, Inc.	6年連続6回目
SIMフリーススマートフォン部門	ASUS JAPAN株式会社	2年連続2回目
スマートフォンケース部門	エレコム株式会社	4年連続4回目
スマートフォン保護シート部門	エレコム株式会社	初受賞
モバイルバッテリー・充電器部門	エレコム株式会社	3年連続3回目
電子辞書部門	カシオ計算機株式会社	12年連続12回目
電子文具部門	株式会社キングジム	4年連続4回目
CDメディア部門	日立マクセル株式会社	6回目
DVDメディア部門	日立マクセル株式会社	7回目
BDメディア部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	4回目
液晶テレビ(40インチ以上)部門	シャープ株式会社/シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社	12年連続12回目
液晶テレビ(40インチ未満)部門	シャープ株式会社/シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社	13年連続13回目
4Kテレビ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	2回目
デジタルチューナー部門	株式会社アイ・オー・データ機器	4回目
HDD・DVDレコーダー部門	東芝映像ソリューション株式会社	4回目
BDレコーダー部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	6年連続7回目
DVDプレーヤー部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	3年連続8回目
BDプレーヤー部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	2年連続3回目
プロジェクター部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	13年連続13回目
PND部門	株式会社ユビテル	4年連続4回目
新設 ドライブレコーダー部門	株式会社ユビテル	初受賞
LED電球・蛍光灯部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	4年連続4回目

<ソフトウェア部門 33部門 20社>

部門名	受賞社	受賞回数
OS部門	日本マイクロソフト株式会社	18年連続18回目
プログラミングソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	18年連続18回目
統合ソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	18年連続18回目
ワープロ・エディタソフト部門	株式会社ジャストシステム	18年連続18回目
FEPソフト部門	株式会社ジャストシステム	18年連続18回目
文書管理ソフト部門	ソースネクスト株式会社	14年連続14回目
データベースソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	18年連続18回目
表計算・グラフソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	18年連続18回目
データ管理ソフト部門	株式会社デネット	初受賞
MAP・ナビソフト部門	株式会社昭文社	4年連続4回目
セキュリティソフト部門	トレンドマイクロ株式会社	9年連続9回目
プレゼンテーションソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	18年連続18回目
グラフィックスソフト部門	株式会社セルシス	3年連続3回目
ビデオ関連ソフト部門	サイバーリンク株式会社	2年連続4回目
画像処理ソフト部門	アドビ システムズ株式会社	15年連続15回目
サウンド関連ソフト部門	クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	10年連続10回目
LAN・インターネットソフト部門	株式会社ジャストシステム	9年連続9回目
業務ソフト部門	弥生株式会社	18年連続18回目
通信ソフト部門	株式会社インターコム	17年連続17回目
CADソフト部門	エーアンドエー株式会社	初受賞
申告ソフト部門	弥生株式会社	13年連続13回目
システムメンテナンスソフト部門	AOSデータ株式会社	8年連続8回目
ユーティリティソフト部門	株式会社ジャストシステム	7年連続7回目
携帯電話ソフト部門	ソースネクスト株式会社	5年連続15回目
教育・学習ソフト部門	株式会社がくげい	5年連続6回目
トレーニングソフト部門	ソースネクスト株式会社	16年連続17回目
テンプレートソフト部門	株式会社デネット	3年連続3回目
フォントソフト部門	株式会社モリサワ	2年連続2回目
クリップアートソフト部門	株式会社データクラフト	14年連続14回目
葉書・毛筆ソフト部門	株式会社筆まめ	18年連続18回目
ホームソフト部門	テクニカルソフト株式会社	8年連続8回目
DTPソフト部門	株式会社筆まめ	8年連続8回目
PCゲームソフト部門	株式会社コーエーテクモゲームス	初受賞

< BCN IT ジュニア賞 2017 >

株式会社 BCN は、技術立国日本の次代を担う若い世代にもものづくりの情熱を伝え、IT 産業に一人でも多くの優秀な人材を迎えるために、2006 年に「BCN IT ジュニア賞」を創設。今年で 12 年目を迎える。

「BCN IT ジュニア賞」は、特定非営利活動法人 IT ジュニア育成交流協会からの推薦を受け、IT に取り組む若者を対象としたコンテストで優秀な成績を収めるなど、すぐれた技術をもつ IT ジュニアの学生を表彰する制度。今年、高等専門学校生徒が参加する「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」、工業高校生を対象とした「高校生ものづくりコンテスト全国大会」「全国高校生プログラミングコンテスト」、全国の 22 歳以下を対象とする「U-22 プログラミング・コンテスト」、若年者のものづくり技能を競う「若年者ものづくり競技大会」の入賞者から、すぐれた技術をもつ 4 チームと個人 4 名を選出、「BCN AWARD」表彰式の会場で表彰する。

「BCN IT ジュニア賞」の表彰式は、「BCN AWARD」の表彰式と同じステージで行われる。IT 関連メーカーのトップから激励と表彰を受けることで、若者たちにもものづくりに取り組む情熱がさらに燃え上がることを期待する。

< 「BCN IT ジュニア賞 2017」受賞チーム・受賞者 >

- ・国立東京工業高等専門学校 リアルタイムに選手とシンクロするスポーツ観戦システム 制作チーム
- ・国立鳥羽商船高等専門学校 みつばちず ドローンを用いた防災減災地図作成システム 制作チーム
- ・国立弓削商船高等専門学校 一致百慮 チーム
- ・愛媛県立松山工業高等学校 メカトロ部 プログラミングコンテスト チーム
- ・青山 柊太郎（ぐんま国際アカデミー中等部）
- ・二ノ方 理仁（東京学芸大学附属竹早小学校）
- ・北本 悠真（愛媛県立松山工業高等学校）
- ・宮崎 恭寛（大分県立鶴崎工業高等学校）

< 協力 >

特定非営利活動法人 IT ジュニア育成交流協会

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

BCN AWARD 2017 実行委員会 TEL:03-3254-7801 E-MAIL:bcn_award@bcn.co.jp